

地域の

活動にがんばる 高校生や大学生を 応援します

募集期間

2005年
5月2日(月)
～
5月31日(火)

この事業は、各地域において活動している高校生や大学生が中心となって、自分たちの成長や地域活動の貢献等、高校生や大学生の相互交流と豊かな人権感覚を身につけることを目的として、自主活動を行なっている団体（グループ・サークル）等に支援します。



申請先・問い合わせ先

〒556-0028

大阪市浪速区久保吉1-6-12

大阪人権センター内

財団法人大阪府人権協会

電話 06-6568-2983

FAX 06-6568-2985



さい たん ほう じん おお さか ふ じん けん きょう かい
財団法人 大阪府人権協会

募 集 要 項

実施主体

応募の対象となる実施主体（以下、応募団体等）は、次のとおりです。

- ①地域で高校生や大学生を対象に自主活動を推進する取り組みを行っている（行おうとする）団体等
- ②地域で高校生や大学生が中心となって自主活動を行っている（行おうとする）団体等

1

対象となる活動内容

- (1) 具体的な活動内容については、次に掲げるものとします。
 - ①人権学習等の人権問題について取り組む活動
 - ②福祉（障害者・高齢者等）に関するボランティア活動
 - ③文化・スポーツ、音楽活動
 - ④祭り、イベント活動
 - ⑤子ども（小・中学生）との関わり活動
 - ⑥自然体験、学習活動
 - ⑦高校生・大学生の中退防止、学業継続活動
- (2) 対象となる経費については、次に掲げるものとします。
 - ①会場費（会場借り上げ料、備品使用料等）
 - ②報償費（講師謝礼等）
 - ③事務作業経費（切手代、消耗品費等）
 - ④印刷費（チラシ等）

2

実施期間

2006年3月1日（水）までに終了する事業

3

募集事業数

大阪府内の市町村（大阪市を除く）から概ね5事業

4

助成額

事業実施に必要な予算について上限20万円を助成します。

5

申請方法等

- (1) 募集期間
2005年5月2日（月）～5月31日（火）まで必着
- (2) 申請方法
実施しようとしている事業企画案「事業計画書」に必要事項を記入し、募集期間内に大阪府人権協会へ郵送または持参して下さい。計画書に必要事項を記入し、〆切日までに事務局へ郵送（または持参）して下さい。

6

事業説明会 選定方法 審査結果

- (1) 「事業説明会（申請書かきかた講座）」への参加
応募する団体等は、4月23日（土）に当協会が開催する『事業募集説明会』に参加して下さい。
- (2) 選定方法
 - 応募内容の選定は、当協会の「進路選択支援事業」企画委員会で書類選考を行った後、面接での選考（事業プレゼンテーション）をおこない、決定します。
 - なお、応募が多数あった場合は、①新規性（事業内容または団体）、②継続的な発展性のある事業、などを優先いたします。
- (3) 審査結果
審査結果については審査終了後、6月中旬頃に文書をもって通知します。

7

助成決定団体

- ①対象となった事業については、事業終了した後で速やかに（2週間以内程度）所定の『事業実施報告書』にて、必要書類を添えて報告書の提出をしていただきます。
（必要書類とは、実施した事業の風景・参加者の様子等の写真5枚程度、参加者の感想文数枚、開催にかかわるチラシ等です）
- ②また、次年度の研修（実践交流）等で実践した事業の報告をしていただきます。

これまでの実践団体一覧

行政区	団体名	事業名・内容
豊中市	障害を持つ仲間と太鼓	太鼓 太鼓を通じて仲間づくりを行い、障害を持つ青年と一緒に練習する。
八尾市	西郡高校友の会	桂中学校区反差別集会 地域、学校における差別落書き・差別発言をふまえた、地域における人権問題学習。
松原市	GOTTA	ジュニア・ユース ドリカムサポート事業 進路選択にむけた情報提供や相談活動、教科学習の支援。
和泉市	サマーキャンプ 実行委員会	サマーキャンプ 障害を持つ者とともにサマーキャンプ。
泉佐野市	フットサルクラブ	青年スポーツ交流プロジェクト 近年の青少年犯罪増加をふまえ、スポーツ活動を通じた、異なる価値観との出会い、人を思いやる心の育成・促進及び健康増進をめざす。
茨木市	茨木市立総持寺青少年センター 音楽サークル連絡会	第3回総持寺青少年センターライブコンサート 「LIVE ALIVE2003（ぼくたちは生きている!）」 青少年グループの活動成果の発表の場とし、互いの交流を図り、親睦を深める。
箕面市	ビオトープ	カランカラン絵本紙芝居隊 地域の中の様々な社会教育施設や子ども・親の居場所としての公園や広場を「絵本・紙芝居」の上演活動を通じてつないでいく。
高槻市	リトル・ウルフ・スタッフ	「キャンプ・スキルアップ・トレーニング」 「中学生スタッフ・トレーニング」 子ども対象の事業、野外活動や取り組みなどに関わる青年が集い、野外活動の知識やスキルを学ぶことを通じて、参加者相互の信頼関係を築き、コミュニケーション、問題解決、カウンセリングなどの力量を高め、中学生や小学生のプログラムなどを企画・運営していく。